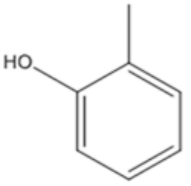
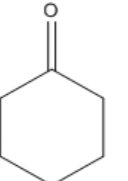
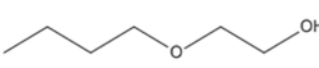
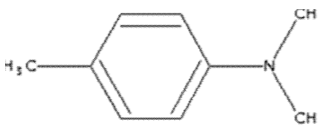


平成32年有害物ばく露作業報告検討物質の情報

No.	グループ	名称(CASNo.)、構造式	物理・化学的性質	用途及び製造量等	発がん性 評価区分等 (※1)(※2)	その他の有害性 (※2) (GHS分類が区分1の もの)	管理濃度等 (※3) (※4)	作業環境の 測定方法	備考
1	IARCでGroup2B 以上の評価となっ ている物	アスファルト(8052-42-4) 	固体 暗い茶色～黒 タール臭 融点 54～173℃ 沸点 > 400℃ ~ > 550℃ 比重(相対密度) 最小値0.95 最大値1.1	道路舗装材料, ゴム練込み用材 料, 印刷インキ・塗料・建材・鑄 物砂型・舗装材料・防水材料・電 気絶縁材料原料, 農薬(失効農薬) (※2) 製造・輸入量 2,000t(石油スト レートアスファルトとして) (※7)	IARC 103 group 2B(ヒトに対して発が んの可能性がある)	特定標的臓器毒性(反 復ばく露) (呼吸器系)	日本産衛学会 未設定 ACGIH(1999) TWA 0.5 mg/m ³ (I)	NIOSH 5042 OSHA 58	安衛令別表第9第11号 の3
2	IARCでGroup2B 以上の評価となっ ている物	1, 1-ジクロロエチレン(75- 35-4) 	液体 無色 クロロホルム類似の、軽度の甘い におい 融点 -122.5℃ 沸点 31.7℃ 蒸気圧 66.5 kPa(20℃) 比重(相対密度) 1.2129(20℃ /4℃) (※5)	合成原料〔家庭用ラップ, 包装用 フィルム, その他加工品, 塩化ビ ニリデンラテックス, 難燃性織 維〕 包装フィルム, 紙やプラスチック フィルム類のコーティング剤 (※2) 製造・輸入量 2,000t(平成28年 度,ジクロロエチレンとして) (※7)	IARC 39, Sup 7, 71, 119 group 2B(ヒト に対して発がんの可能 性がある) EPA C(ヒト発がん性 がある可能性がある物 質) EU 2(ヒトに対する発 がん性が疑われる物 質)	特定標的臓器毒性(単 回ばく露) (神経系、呼吸器、肝 臓、腎臓) 特定標的臓器毒性(反 復ばく露) (血液、呼吸器、肝 臓、腎臓、生殖器(男 性))	日本産衛学会 未設定 ACGIH(1992) TWA 5 ppm	ASTM D 5466 NIOSH 1015 OSHA 19	安衛令別表第9第241号
3	平成26年度発がん 性評価WGにおい て化審法スクリー ニング評価におけ る発がん性クラス が1又は2の物 質・案件であって リスク評価対象と されたもの	Tert-ブチル=メチル= エーテル(1634-04-4) 	液体 無色 テルペン臭 融点 -108.6℃ 沸点 55℃ 蒸気圧 27 kPa(20℃) 比重(相対密度) 0.741(20℃ /4℃) (※5)	ガソリンのオクタン価向上剤 (※2) 製造・輸入量 8,000t(平成28年 度) (※7)	IARC 73 group 3(ヒトに対する発がん 性について分類できな い)	—	日本産衛学会 未設定 ACGIH(1999) TWA 50 ppm	NIOSH 1615	安衛令別表第9第580号 (メチルターシャリー ブチルエーテル)
4	平成26年度発がん 性評価WGにおい て化審法スクリー ニング評価におけ る発がん性クラス が1又は2の物 質・案件であって リスク評価対象と されたもの	フルフラール(98-01-1) 	液体 アーモンド様の臭い 融点 -36.5℃ 沸点 162℃ 蒸気圧 2.21 mmHg(25℃) 比重(相対密度) 1.16 (※5)	溶剤, フラン樹脂原料, 潤滑油精 製, 医薬品原料 (※2) 製造・輸入量 1,000t(平成28年 度) (※7)	IARC 63 group 3(ヒトに対する発がん 性について分類できな い) EU 2(ヒトに対する発 がん性が疑われる物 質)	特定標的臓器毒性(単 回ばく露) (呼吸器、肝臓) 特定標的臓器毒性(反 復暴露) (呼吸器、肝臓)	日本産衛学会(1989) 2.5 ppm 皮 ACGIH(2016) TWA 0.2 ppm Skin	NIOSH 2529 NIOSH 2539 OSHA 72	安衛令別表第9第490号

No.	グループ	名称(CASNo.)、構造式	物理・化学的性質	用途及び製造量等	発がん性 評価区分等 (※1)(※2)	その他の有害性 (※2) (GHS分類が区分1の もの)	管理濃度等 (※3) (※4)	作業環境の 測定方法	備考
5	平成26年度発がん性評価WGにおいて化審法スクリーニング評価における発がん性クラスが1又は2の物質・案件であってリスク評価対象とされたもの	o-クレゾール(95-48-7) 	固体 無色 特有の臭気 融点 31℃ 沸点 191-192℃ 蒸気圧 33Pa(25℃) 比重(相対密度) 1.047(20℃/4℃) (※5)	エポキシ樹脂・農薬・酸化防止剤・可塑剤(リン酸トリクレジル等)・フェノール樹脂合成原料、電線ワニス溶剤、消毒液 (※2) 製造・輸入量 27,095t(平成28年度) (※6)	EPA C(ヒト発がん性がある可能性がある物質)	皮膚腐食性・刺激性 眼に対する重篤な損傷性・眼刺激性 特定標的臓器毒性(単回ばく露) (中枢神経系、呼吸器、心血管系、血液系、肝臓、腎臓、脾臓、脾臓) 特定標的臓器毒性(反復ばく露) (中枢神経系、心血管系、血液系、呼吸器、肝臓、腎臓)	管理濃度 5 ppm 日本産衛学会(1986) 5 ppm 皮 ACGIH(2009) TWA 20 mg/m ³ (IFV) Skin	作業環境測定基準	安衛令別表第9第141号 第2種有機溶剤 化審法優先評価化学物質
6	平成26年度発がん性評価WGにおいて化審法スクリーニング評価における発がん性クラスが1又は2の物質・案件であってリスク評価対象とされたもの	シクロヘキサノン(108-94-1) 	液体 無色 特徴臭 融点 -32.1℃ 沸点 155.6℃ 蒸気圧 4.33mmHg(25℃) 比重(密度) 0.95(20℃,4℃) (※5)	溶剤、カプロラクタム(合成樹脂・ナイロン原料)原料 (※2) 製造・輸入量 88,783t(平成28年度) (※6)	IARC 47, 74 group 3(ヒトに対する発がん性について分類できない)	皮膚感作性 特定標的臓器毒性(単回ばく露) (呼吸器系) 特定標的臓器毒性(反復ばく露) (中枢神経系、骨)	管理濃度 20 ppm 日本産衛学会(1970) 25ppm ACGIH(1990) TWA 20 ppm STEL 50 ppm Skin	作業環境測定基準	安衛令別表第9第231号 第2種有機溶剤 化審法優先評価化学物質
7	平成26年度発がん性評価WGにおいて化審法スクリーニング評価における発がん性クラスが1又は2の物質・案件であってリスク評価対象とされたもの	2-ブトキシエタノール(111-76-2) 	液体 無色 特徴臭 融点 -74.8℃ 沸点 168.4℃ 蒸気圧 0.76mmHg(20℃) 比重(相対密度) 0.9012g/cm ³ (20℃,4℃) (※5)	塗料・印刷インキ・染料・農薬溶剤 (※2) 製造・輸入量 33,999t(平成28年度) (※6)	IARC 88 group 3(ヒトに対する発がん性について分類できない) EPA NL(ヒト発がん性の可能性が低い物質)	特定標的臓器毒性(単回ばく露) (血液系、呼吸器、肝臓、腎臓) 特定標的臓器毒性(反復ばく露) (血液系)	管理濃度 25 ppm 日本産衛学会(暫定) 20 ppm ACGIH(1996) TWA 20 ppm	作業環境測定基準	安衛令別表第9第79号 (エチレングリコールモノノルマルブチルエーテル) 第2種有機溶剤 化審法優先評価化学物質
8	平成29年度発がん性評価WGにおける文献調査によりIARC 1~2B相当と判断された物	N, N-ジメチルパラトルイジン(99-97-8) 	液体 黄色~帯茶色 芳香族臭 融点 -15℃ 沸点 215℃ 蒸気圧 0.1 hPa(20℃) 比重(相対密度) 0.9 (※5)	樹脂重合触媒、プラスチックセメント・接着剤硬化剤 (※2) 製造・輸入量 10t(推定) (※8)	IARC 115 group 2B(ヒトに対して発がんの可能性はある)	特定標的臓器毒性(単回ばく露) (血液系) 特定標的臓器毒性(反復ばく露) (呼吸器、肝臓、腎臓)	日本産衛学会 未設定 ACGIH 未設定	NIOSH 2002	-

※1 List of Classifications Vol1-122(IARCホームページ)
 ※2 化学物質総合情報提供システム(CHRIP)
 ※3 日本産業衛生学会の許容濃度の勧告(2017年度)
 ※4 2018 ACGIH化学物質のTLVs(ACGIHのばく露限界値)

TWA : 8時間時間加重平均, STEL : 短時間ばく露限界, Skin : 経皮吸収

※5 職場のあんぜんサイト(厚生労働省HP)のモデルSDS情報
 ※6 平成28年度優先評価化学物質の製造・輸入数量(経済産業省)
 ※7 平成28年度一般化学物質の製造・輸入数量(経済産業省)
 ※8 2016年版 16716の化学商品(化学工業日報社)